6/16 大磯・高麗山『元がえり』の祈り

～祝詞、護摩(ごま)、巫女舞、演奏のご奉納～

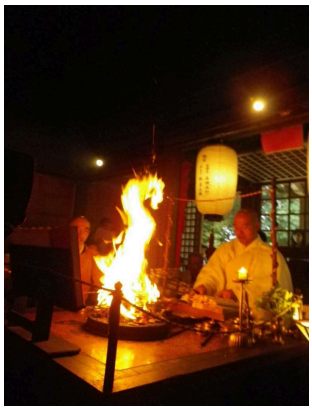
大磯・高麗山は古代より様々な人達が集いました。
時代や人々は違っても、きっと誰もがこの山の不思議な魅力に惹かれてやって来たのでしょう。
元々は神仏習合であったこの山で、
この度、山口県より般若寺 90 代目・福嶋ご住職をお招きしての護摩法要と、高来神社宮司の祝詞、
加えて巫女舞と演奏の奉納をします。
この誇るべき自然と、
それをずっとお守りくださった先人達に、
感謝の気持ちを込めて祈りをいたします。

内容

【日時】6 月 16 日（火）午前 10 時～11 時 30 分（護摩の受付は午前 9 時より）
【場所】大磯高麗山・山頂（奥宮のある広場です。現地集合解散となります)
行き方：高来神社（神奈川県中郡大磯町高麗 2-9-47）の境内裏より約 20 分の登山です。
【内容】〇祝詞（高来神社宮司）
〇巫女舞（蛭田浩子）
〇即興演奏
〇護摩（山口県・真言宗御室派神峰山般若寺第90世住職 福嶋弘昭）
〇君が代・斉唱
【参拝参加費】3,000 円（願い事を書いた護摩木を奉納する方は一本につき 500 円お納め願います）

護摩（ごま）とは？

護摩（ごま）とはサンスクリット語で、「焚く」「焼く」を意味する火の儀式です。私たちの煩悩を象徴する護摩木（ごまぎ）という特別な薪をくべて捧げる事で、煩悩を清らかな「聖なる火」へと高めます。この機会にぜひ、護摩木に書く願い事などを考え、煩悩を清める心づもりでご参加ください。



【ご連絡先】高来神社社務所まで：0463-61-1146